器55　医療用洗浄器

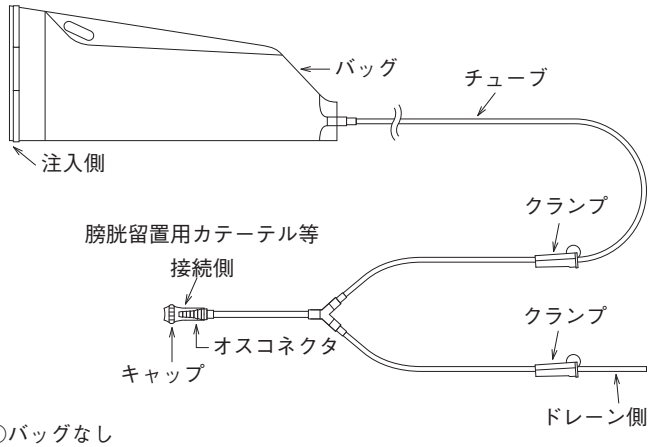
一般医療機器　　一時的使用膀胱洗浄キット　10406001

ＪＭＳ膀胱洗浄セット

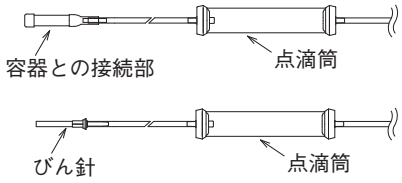
再使用禁止

【禁忌・禁止】
●再使用禁止

【形状・構造及び原理等】
本品は、基本的にバッグ、びん針、容器との接続部、メスコネクタのいずれかの構成部材、チューブ及びオスコネクタからなる。
＜構成（代表例）＞
○バッグ付



○バッグなし



・本品はポリ塩化ビニル（可塑剤：フタル酸ジ（２－エチルヘキシル））を使用しています。
・上記構成と当該製品の構成が異なる場合があります。

【使用目的、効能又は効果】
一時的使用を目的として、膀胱を洗浄するために用いる器具。

【品目仕様等】
本品のオスコネクタと膀胱留置用カテーテル等を接続後、本品の一端をクランプし、膀胱留置用カテーテル等の一端に１kgのおもりをぶら下げて、この状態を１分間保持したとき、本品のオスコネクタと膀胱留置用カテーテル等との接続部及び本品の各接続部に破断、外れ等が生じない。

【操作方法又は使用方法等】
＜バッグ付の場合＞
(1) 包装から本品を取り出します。
(2) 本品をガートル台に吊るします。
(3) 注入側及びドレーン側のチューブをクランプ等で完全に閉めます。
(4) バッグ内に生理食塩液等の洗浄液を汚染に注意しながら注入口から充填し、注入側のクランプ等を開き、セット内をプライミングした後、クランプ等を閉じます。
(5) オスコネクタを、膀胱留置用カテーテル等に接続します。
(6) 注入側のクランプ等を開けて膀胱内に、落差60cm以上で洗浄液を注入します。
(7) ドレーン側のクランプ等を開けて排液します。
＜バッグなしの場合＞
(1) 包装から本品を取り出します。
(2) 注入側及びドレーン側のチューブをクランプ等で完全に閉めます。
(3) 生理食塩液等の洗浄液の容器に接続後、本品の点滴筒を軽く指で押し離し、点滴筒の半分程度まで洗浄液をためます。注入側のクランプ等を開き、プライミングが終了したらクランプ等を閉じます。
(4) オスコネクタを膀胱留置用カテーテル等に接続します。
(5) 注入側のクランプ等を開けて、膀胱内に落差60cm以上で洗浄液を注入します。
(6) ドレーン側のクランプ等を開けて排液します。

使用方法に関連する使用上の注意
●びん針等は洗浄液の容器のゴム栓に対し、斜めに刺通したり、刺通中に横方向への力を加えないこと。［びん針の曲がり、破損が生じる場合がある。］又、ゴム栓への刺通はゆっくり、まっすぐ行い、同一箇所に繰り返し刺通しないこと。［刺通部分を削り、針管内に詰まりが生じる、又はゴム片が混入する可能性がある。］
●びん針の段差部分まで洗浄液の容器に刺通すること。［刺通が不十分な場合、使用中の抜け、チューブ内へのエア混入等の可能性がある。］
●点滴筒内一杯に生理食塩液等の洗浄液をためないこと。
●プライミング後、点滴筒を横にしたり傾けたりしないこと。［チューブ内に空気が混入し、洗浄液が流れにくくなる可能性がある。］
●本品と膀胱留置用カテーテル等との接続は外れないように確実に行うこと。なお、過度な締め付けをしないこと。［接続を外す際に接続部及び本品の破損等の可能性がある。］
●接続時は膀胱留置用カテーテル等のチューブを無理に引っ張らずに、チューブのねじれに注意し接続すること。
●コネクタ等の接続部に洗浄液が付着した場合は、接続部に緩みが生じるので汚染に注意し、拭き取ってから接続すること。
●洗浄操作の中断及び終了時にはクランプ等を完全に閉じること。
●クランプ等を長時間閉めた状態にしないこと。［チューブが閉塞する。］
●クランプ等を分岐部やコネクタ付近のチューブ接続部分（硬質部品）に移動させて操作しないこと。［チューブが破損する、又は接続部が外れる可能性がある。］
●洗浄操作を停止又は終了時、クランプ等は滴下が完全に止まるまで閉じること。
●鉗子等でチューブをクランプする場合、チューブを傷つけないように注意すること。［液漏れが生じる可能性がある。］

【使用上の注意】
1.重要な基本的注意
●医薬品を使用する場合は医薬品の添付文書を確認後、使用すること。
●包装が破損、汚損している場合、及び製品に破損、変形等の異常が認められる場合は使用しないこと。

●開封時は接続部の外れや緩みが無いことを確認してから使用すること。
●包装を開封したらすぐに使用すること。
●使用中はコネクタの接続部の緩み、液漏れ及び破損等に注意すること。
●使用中は本品が患者の下敷き及びガートル台等に引っ掛かることがないように注意し、定期的に確認すること。［チューブ接続部からの外れ又は構成品の破損等により、漏れ、エアの混入等が生じる。］
●チューブの接続部を曲げたり、チューブを過度に引っ張ったり、押し込むような負荷がかからないようにすること。［接続部の外れ、漏れ、チューブの破損が生じる可能性がある。］
●本品は、自然滴下（落差）方式のみで使用し、輸液ポンプでは使用しないこと。
●ゴム管を使用している場合は、過度の押し込み及び引き抜き負荷を与えないこと。［当該部は非接着のため、接続部が外れることがある。］
●脂溶性の医薬品ではポリ塩化ビニルの可塑剤であるフタル酸ジ（２ーエチルヘキシル）が溶出する可能性があるので、注意すること。
2.その他の注意
●びん針等の針部やコネクタ等の先端部には直接手を触れないこと。
●誤穿刺に注意すること。
●使用後は感染防止に配慮して安全な方法で処分すること。

【貯蔵・保管方法及び使用期間等】
1.貯蔵・保管方法
●水ぬれに注意し、高温、多湿、直射日光を避けて保管すること。
2.使用期間
●60分未満を目安に使用すること。
3.使用期限
●使用期限は、箱の使用期限欄を参照すること。[自己認証(当社データ)により設定]

【包装】
15本入／箱、20本入／箱
(箱の入数表示を参照)

【製造販売業者及び製造業者の名称及び住所等】
製造販売元及び製造元
株式会社ジェイ・エム・エス
広島市中区加古町12番17号
郵便番号： 730-8652
電話番号： 082-243-5806